



# 「子どもたちの未来は、ふくしまの未来」。

新任教員から  
Message

## 小学校教諭

Elementary  
school



いわき市立高坂小学校  
教諭 小澤 美月



My  
step!

**思い入れが詰まっている場所で教員として働き  
地元ふくしまに貢献していきたいと思った。**

### ◎福島県の教員を志願した理由は？

幼い頃から慣れ親しんできた地元福島に貢献していきたいと思ったからです。思い入れが詰まっているこの福島県で教員として働き、未来をつなぐ子どもたちのために自分にできることをしていきたいと思いました。

### ◎教員の仕事に喜びを感じるのはどんな時？

子どもたちの成長が見られた時です。できなかった問題が分かるようになった時や、学習発表会などのステージでやりきった時の子どもたちの満足そうな達成感あふれる表情を見ると、この上ない喜びを感じます。

### ◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？



子どもたちとの時間を大切に毎日を過ごしています。子どもとの信頼関係を築くためにも、朝のうちに家庭学習の丸つけを終わらせ、休み時間には一緒に話したり遊んだりする時間を作れるように取り組んでいます。

### ◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

高坂小学校の魅力は、子どもたちが素直で元気いっぱいなところだと思います。私がいさづつをすると、子どもたちは元気にあいさつを返してくれます。また、職員室の雰囲気も明るく、何でも相談できるのもこの学校の自慢です。

### ◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

子どもたちの笑顔が見られた時や成長を実感した時にやりがいを感じます。これからの目標は、全ての子どもたちへのよりよい学びの実現です。少しでも「分かった！」を増やせるように教材研究に努めていきたいです。

### ◎福島県の教員を 目指す人へ一言！

とてもやりがいのある仕事です。  
夢の実現に向け  
頑張ってください！

### 休日の過ごし方



友達と  
小旅行などに  
出かけて  
います

先生が笑っていると、子どもたちも笑顔になる。

先生が頑張っていると、子どもたちも一生懸命になる。

小学校も、中学校も、高等学校も、特別支援学校も子どもたちの未来をつくるのはいつだって先生。

ふくしまの新たな未来をつくる、子どもたちの未来を共につくりませんか。

新任教員から  
Message

## 中学校教諭

Junior  
high school



南会津町立南会津中学校  
教諭(社会) 武尾 将希



My  
step!

**自分が生まれ育った会津で教員ができること  
子どもたちと関わることがやがいです。**

### ◎福島県の教員を志願した理由は？

中学校で過ごした時間がとても楽しく、私も「生徒の最高の思い出になるような学級経営をしたい」と思い、中学校の教員になりました。一人一人がお互いに尊重し合い、助け合うことができるクラスを目指しています。



### ◎教員の仕事に喜びを感じるのどんな時？

社会科の授業で、生徒の「わかった」「なるほど」という声を聞くことができた時です。授業以外でも、学校行事や部活動での子どもたちの成長を間近で見ることができ、一緒に感動を共有できることに喜びを感じます。

### ◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？

生徒の個性を伸ばしてあげingことを考えながら、一人一人に応じた具体的な指導や支援をしています。また、何事にも責任をもって学級経営や授業、部活動に生徒と一緒に取り組んでいます。

### ◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

生徒が「授業」「部活動」など、何事にも全力で取り組み一生懸命なところが最大の自慢です。地域の方々もとても温かく、人と人のつながりが強いところも本校の魅力です。

### ◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

自分が生まれ育った会津の地で教員ができていること、子どもたちと関わることによりやりがいを感じています。南会津のよさを生徒に発信して、南会津の発展に貢献できる生徒を育てることが、私のこれからの目標です。

### ◎福島県の教員を目指す人へ一言！

生徒と共に  
成長できる教員を  
一緒に目指して  
いきましょう！

### 休日の過ごし方



南会津の  
自然を楽しむ  
キャンプ



福島県では、急激な社会の変化の中で、  
「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、  
対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を  
育成するために、学びの変革※1を実現できる次のような教員を  
求めています。

※1 学びの変革とは  
全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、  
個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること



新任教員から  
Message

# 高等学校 教諭

Senior high  
school



福島県立会津工業高等学校  
教諭(機械科) 前田 健登



**ものづくりの楽しさを未来の福島県を支える  
生徒たちにしっかりと伝えていきたい。**

◎福島県の教員を志願した理由は

高校時代にお世話になった先生に勤められたのがきっかけでした。ものづくりの楽しさを未来の福島県を支える生徒に伝え教えていくとともに、長年続けてきた野球に指導者という立場で関わりたいと考え志望しました。



◎教員の仕事に喜びを感じるのはどんな時？

生徒が地道に努力して課題に取り組みよい結果を出して自信をつけた時や、高校生活のさまざまな体験を通して成長し晴れ晴れとした様子で卒業していく姿を見る時に、この仕事をしていてよかったと喜びを感じます。

◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？

普段から教員という自覚と責任感をもって学校生活を送るようにしています。生徒と真摯に向き合い、ダメなことは注意し、よいことは褒めるなど、生徒との信頼関係をしっかりと築けるよう仕事に取り組んでいます。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

若い先生でも新しいことにチャレンジできることです。今年度「モデルロケット」という大会に生徒とともに初めて参加しました。多くの困難がありましたが、周りの先生方のサポートのおかげで頑張ることができました。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

授業の際、学習に苦手意識をもっている生徒が「分かった」と理解してくれた時にとてもやりがいを感じます。そのためにも、生徒が理解しやすい授業をできるように、これからも教科指導の研さんに努めていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島を担う  
生徒たちと共に成長し、  
自分らしく  
頑張らしましょう！！





## 「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を実践する教員

※2 「福島らしさ」とは

- 「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこそその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性
- 人と人との触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
- 東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

新任教員から  
Message

### 特別支援学校 教諭

Special-needs  
education school



福島県立大笹生支援学校  
教諭 橋本 学



My  
step!

生徒とのきめ細かなコミュニケーションを通して成長を感じられることがこの仕事の喜びです。

#### ◎福島県の教員を志願した理由は？

前職で市役所に勤務していた際、子どもたちとふれあう機会があり、これからは福島の子どものために携わっていきたくて考えるようになりました。目標を定め、働きながら教員免許状を取得して教員を目指しました。

#### ◎教員の仕事に喜びを感じるのはどんな時？

特別支援学校は、他校種と比べて、生徒一人一人とふれあう場面や時間が多くあります。生徒たちとのきめ細かなコミュニケーションを通して、それぞれの成長を感じることができることに喜びを感じています。



#### ◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？

教員になる前から、スピード感をもって取り組むこと、ひたむきな姿勢で仕事に打ち込むことを意識しています。教員になってからは、この2つにプラスして以前よりも「報・連・相」を大切にしています。

#### ◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

本校の高等部では、作業学習で清掃学習や物づくりを行っています。道の駅ふくしまの窓清掃や作業製品の販売を行い、地域とのつながりを大切にしています。普段はできないことを経験できることが魅力だと思います。

#### ◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

日々、自分の力不足を感じています。だからこそ、今後の目標をしっかりともち、何事にも挑戦すること、目の前の生徒としっかりと向き合い、生徒にとってよりよい指導及び支援ができる教師になりたいと思います。

#### ◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島県の  
児童生徒のために、  
一緒に  
頑張りましょう！

#### 休日の過ごし方



家族と一緒に  
過ごしています



高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、  
児童生徒に伴走しながら学び続ける教員

新任教員から  
Message

## 養護教諭

Nursing teacher



双葉郡川内村立川内小中学園  
養護教諭 高野 亜美良



My  
step!

## 子どもたちの笑顔や成長のためにチームとして 心身の健康の観点から日々できることを。

### ◎福島県の教員を志願した理由は？



小学校5年生の時に東日本大震災を経験し、当時お世話になった先生方のように子どもたちのために力を尽くせる仕事に就きたい、また、生まれ育った福島県に恩返しをしたいと思い福島県の教員を志しました。

### ◎教員の仕事に喜びを感じるのはどんな時？

子どもたちが、以前はできなかったことができるようになった時や、悩みや不安を乗り越えて目標を達成できた時など、その成長を目の当たりにした時に教員としての魅力や喜びを感じます。

### ◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？

いつも向上心を忘れずに、学び続ける姿勢を大事にしています。不安になったり悩んだりしたら、先生方に相談にのってもらっています。時には失敗することもあります、それを糧に成長できればと思っています。

### ◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

本校の児童生徒は温かく素直な心をもっています。そのような子どもたちから気付きや学びを得ることも多く、毎日穏やかに楽しく過ごしながら、子どもと共に学び合える素敵な学校です。

### ◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

子どもたちの笑顔や成長をそばで見守れることにやりがいを感じます。子どもたちの笑顔や成長のために、心身の健康という観点からできることを考え、チーム川内小中学園の一員として日々頑張っていきたいです。

### ◎福島県の教員を 目指す人へ一言！

福島県の  
子どもたちのために、  
一緒に  
頑張りましょう！

### 休日の過ごし方



旅行をして  
リフレッシュ  
します

福島県が  
育成を目指す  
教員像

心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、  
チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員

令和3年度採用教員から  
Message

合理的配慮の  
申請による  
合格者



福島県立郡山支援学校  
教諭 越前 由喜



My  
step!

## デフリンピック日本代表選出に向けて 教員の仕事とバスケの練習を両立しています。

### ◎福島県の教員を志願した理由は？

聾学校の中学部に入学し、聴覚障がいのある先生に出会ったことがきっかけです。私たちとふれあう先生の姿から、耳の間こえない自分だからこそ子どもたちに伝えられることがあると教わり、教員を目指しました。

### ◎教員の仕事に喜びを感じるのはどんな時？

子どもたちは体を動かすのに難しい面がありますが、できる方法を見つけて様々なことに挑戦しています。中には、私と話そうと、手話の勉強に取り組む子もいます。また、子どもたちも、私のデフバスケットボールの活動をとても応援してくれています。



### ◎仕事に対してどのように取り組んでいますか？

デフリンピック日本代表選出に向けて、教員の仕事とバスケの練習を両立しています。退勤後に練習やトレーニングを積むことで、仕事とバスケに集中して取り組めるようになりました。

### ◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

バスケの国際大会に参加した時、学校の業務から離れることになり、授業の補欠等をお願いした同僚と、予め学級経営や授業の進め方について共有して協力をいただきました。先生方は、デフバスケットボールの活動を、とても応援してくれています。

### ◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

教員4年目になってもまだ分からないことがあります。授業づくりや学級経営、同僚との連携など、以前より余裕をもち取り組めるようになりました。今後は、障がいの有無を問わず、スポーツの楽しさを広めていきたいです。

### ◎福島県の教員を目指す人へ一言！

毎日が楽しく、  
面白いです！  
一緒に働こう!!

### 休日の過ごし方



デフリンピック  
日本代表選出に  
に向けて練習！

© DIBF&2024APDBC

# Together

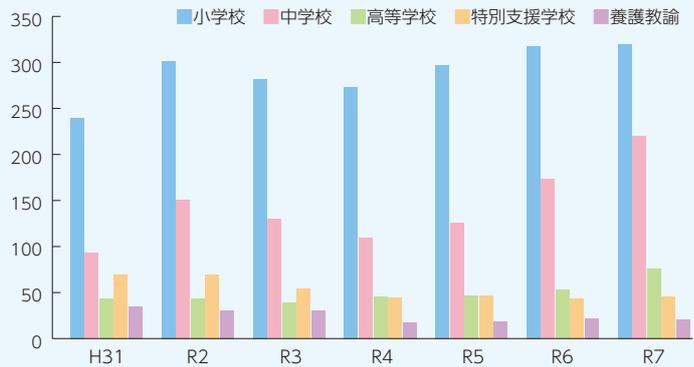
共に、新たな未来を。

たくさんの出会いが待っている学校生活。  
あなたもふくしまで先生を目指してみませんか。

## 出願から採用までのスケジュール(予定)



## 合格者数実績



## 志願者・受験者・合格者・倍率 (令和6年度実施)

	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者数/合格者数)
小学校	396	383	320	1.2
中学校	588	567	221	2.6
高等学校	418	395	77	5.1
特別支援学校	133	133	45	3.0
養護教諭	207	203	20	10.2
合計	1,742	1,681	683	2.5

問合せ先

## 福島県教育庁

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

義務教育課 教員採用担当 TEL024-521-7761  
高校教育課 教員採用担当 TEL024-521-7770  
特別支援教育課 教員採用担当 TEL024-521-7765

X(旧Twitter)でも教員採用の情報を発信しています。  
「福島県教員採用」で検索してください。  
義務教育課HPにリンクを掲載しています。